

トンネル栽培における7月下旬収穫スイカの有望品種

‘稀勢丸’、‘羅皇ザ・スイート’

1 新しい品種の内容

(1) 背景・目的

本県の平坦地における7月中旬以降の収穫となる作型では、梅雨明け後の高温遭遇により糖度低下や果肉の変質（うるみ果）により果実品質が低下しやすいため栽培が少ないが、市場からは出荷量の確保が求められている。そこで、裂果やうるみ果の発生が少なく果実品質の高い2品種‘稀勢丸’（東洋農事）と‘羅皇ザ・スイート’（ナント種苗）を選定したので紹介する。

(2) 情報・成果の要約

‘稀勢丸’、‘羅皇ザ・スイート’は筑波の香’と比較して次の特徴があり有望である。

- 1、うるみ果の発生が少ない
- 2、果実カット時の裂果率が低い
- 3、‘稀勢丸’の果重はやや軽く、果実糖度は同等
‘羅皇ザ・スイート’の果重は重く、果実糖度は高い

2 試験成果の概要

(1) 試験の方法

2017～2019年にかけて‘稀勢丸’および‘羅皇ザ・スイート’を‘筑波の香’を対照に比較検討した。作型は4月下旬に定植し、5月下旬にミツバチによる交配を行い、7月中旬に収穫するトンネル栽培とした。台木は‘かちどき2号’を用い、4本整枝2果どりとした。栽植密度は、2017年は株間80cm・畝間3.5m、2018年以降は株間75cm・畝間3.3mで実施した。

(2) 試験の結果

2果着果率はいずれの品種も95%以上であったが、‘稀勢丸’は、ほ場での裂果や落果が少なく、収穫率はいずれの年も高い傾向だった。秀率および可販率は、いずれの年も‘稀勢丸’と‘羅皇ザ・スイート’が‘筑波の香’よりも高い傾向だった。平均果重は‘筑波の香’に対して‘稀勢丸’はやや軽く、‘羅皇ザ・スイート’は重かった。果実糖度は‘羅皇ザ・スイート’が最も高い傾向だった（表1）。

うるみ果は‘筑波の香’はいずれの年次とも発生したが、‘稀勢丸’と‘羅皇ザ・スイート’は2017年と2019年は発生がなかった。2018年は7～8月にかけて異常高温が続き、‘筑波の香’では著しく発生したが、‘稀勢丸’と‘羅皇ザ・スイート’は発生がなかった。

ト’は軽微であった。このため、可販率はいずれの年も‘稀勢丸’、‘羅皇ザ・スイート’が‘筑波の香’より高かった。

‘筑波の香’は着果後に草勢が低下するが、‘稀勢丸’と‘羅皇ザ・スイート’は収穫前まで草勢が維持された。(表2)。

以上の結果から、裂果やうるみ果の発生が少ない‘稀勢丸’、‘羅皇ザ・スイート’の2品種を有望品種として選定した。

表1 収穫果実の調査^{※1}

年度	品種	2果着果 株率 (%)	収穫率 ^{※2} (%)	秀率 ^{※3} (%)	可販率 ^{※4} (%)	果重 (kg)	糖度 (Brix%)		空洞果		うるみ果		カット時 裂果率 (%)
							中心	種子周辺	発生率 (%)	指数 ^{※5}	発生率 (%)	指数 ^{※5}	
2017	稀勢丸	100	90	65	90	11.6	12.4	12.1	6	4	0	0	0
	羅皇ザ・スイート	100	85	65	80	14.0	12.7	11.6	0	0	0	0	6
	筑波の香	100	73	38	55	11.8	12.7	12.0	19	13	12	4	28
2018	稀勢丸	95	90	50	65	9.2	12.2	11.9	8	4	11	6	32
	羅皇ザ・スイート	100	100	63	88	10.4	13.0	11.7	13	4	6	2	31
	筑波の香	100	98	68	58	9.5	12.5	11.8	8	6	31	14	62
2019	稀勢丸	100	95	85	78	9.3	12.0	11.4	3	3	0	0	20
	羅皇ザ・スイート	100	85	75	70	10.6	12.6	11.7	0	0	0	0	33
	筑波の香	100	85	63	65	9.8	12.1	11.5	0	0	17	11	57

※1) 試験規模は1区10株・2反復、2017年度‘稀勢丸’と‘羅皇ザ・スイート’は10株反復無し、2018年度‘羅皇ザ・スイート’は9株反復なし

※2) 収穫率・・・裂果やしぼみがなく収穫できた果実数/(栽培株数*2)*100

※3) 秀率・・・果形が秀で空洞の発生していない果実数/(栽培株数*2)*100

※4) 可販率・・・収穫果実のうち果形が良以上・うるみ無発生・果実糖度11度以上・空洞は中程度まで含む果実数/(栽培株数*2)*100

※5) 空洞果とうるみ果は程度が甚:3、中:2、軽微:1、無:0とし、次式で指数化した。指数=Σ(程度×個数)/(3×総数)×100

表2 収穫前の草勢調査

品種	2017年7月12日		2018年7月3日
	草勢	葉色	草勢
稀勢丸	4.5	4.5	4.3
羅皇ザ・スイート	4.5	4.5	4.5
筑波の香	3.0	3.0	3.0

※) 草勢は5:強~1:弱、葉色は5:濃~1:薄として評価した

3. 普及の対象及び注意事項

(1) 普及の対象 鳥取県中部スイカ産地

(2) 注意事項

1) ‘かちどき2号’以外の台木での栽培は未実施のため、草勢の異なる台木の影響は不明である。特に‘羅皇ザ・スイート’は大玉になりやすいため、強勢台木での栽培には留意する。

2) 他の作型での栽培適応性は未実施である。

4 試験担当者

野菜研究室	研究員	浅尾悠介
	主任研究員	白岩裕隆
	室長	森本康史